

慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句・ことわざを取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『立つ瀬がない』

意味:自分の立場がない、の意味。

ひとこと:“瀬”は川の浅いところ。背が立つ浅い所がないとおぼれてしまうということから来た言葉。

使い方:みんなのために頑張ってくれたんだから、そんなに非難するなよ。彼の立つ瀬がないだろ！

『立て板に水』

意味:よどみがなくスラスラと話す様子。

ひとこと:対義語として『横板に雨だれ』がある。

使い方:立て板に水のようにスラスラと説明した。

ことわざ

『失敗は成功のもと』

意味:失敗してもそれを反省して次に活かせば、成功につながるという意味。

ひとこと:類義語として『七転び八起き』『失敗は成功の母』がある。

使い方:そんなに落ち込むなよ。失敗は成功のもとにすればいいじゃないか。

『釈迦(しゃか)に説法(せっぽう)』

意味:そのことを知り尽くしている人に、偉そうに教えること。

ひとこと:仏法を知り尽くしているお釈迦様に、仏法について教えると言うことからきた言葉。

使い方:釈迦に説法かもしれませんが、一応ご説明いたします。